



第 6 号

2007年12月

発行・編集
甲賀市企業人権啓発推進協議会
事務局
甲賀市役所産業経済部商工観光課内
TEL 0748-65-0710
http://www.mcv.zaq.ne.jp/koka-kijinkyuu/

特集

人権という視点と企業



「企業が人権をやってもお金にならない。」ずっと以前にはこんな意見も聞かれたことがありました。でも今は「人権感覚が無くては生きのびられない。」とまでも言われるようになりました。相づく食品偽装表示、耐震設計偽装、ホテルのバリアフリー設備の不正改造など、社会を裏切り、たくさんの人々を失望させ不幸にした一連の事件は、まさにその企業の人権感覚の欠如が引き起こしたものです。

ヒトは、自然のなかで、ひとりではたいしたことできません。だから、その欠点をおぎない、より幸せな生き方をするために、集まり、さまざまな関係を結びあい、それぞれの役割を果たし、支えあって今日の社会を築いてきました。人が人との間に関係を結んで支えあう姿が「人間社会」です。「あなたがいないければ私は関係をむすべない。私がいなければあなたを支えられない。世の中のすべての人が

いてくれなければ人間としての幸せが得られない。」・・・ひとりひとりが人間として大切にされること＝「人権」こそ社会を支える大切な土台なのです。

企業は人間社会にむけて業務を提供し対価を得ます。「あなたを大切にします。」というスタンスが確立していれば社会を不快にすることはないし、たとえトラブルが起こっても正しい対応がとれます。これによって社会はその企業を評価し、企業はさらなる発展をとげます。今、社会が企業に強く求めること。それが「人権という視点」です。その視点から製品やサービスが生まれ、環境への配慮、法令の遵守など、企業がはたすべき役割が見えてきます。そのために、経営者、従業員それぞれの立場で人権感覚をみがき、業務に活かしていくことが求められています。



平成19年度 人権標語

募集

12月4日(火)～12月10日(月)は人権週間です。

この機会に各企業・事業所の取り組みの点検をしてみましょう。従業員各位も人権について考える機会にしましょう。

企人協では人権週間の取り組みとして「人権標語」の募集をしています。詳細は各企業・事業所に送付していますので窓口担当者に確認してください。豪華優秀賞（12点）を始め、企人協に応募された各事業所3名の参加者には粗品を進呈します。皆さんのご応募をお待ちしています。

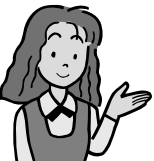
就労相談員の職場見学会
実施される

市内で就労の困難なかがたの就労相談にあっている相談員さんたちが、このたび企人協会員企業を訪れ、職場見学を行いました。これは、日ごろの相談業務をより充実させるために相談員さんより要望があり、企人協が受け入れ先となって実現したもので、見学会では熱心な質疑応答が繰

り返されました。こうしたことの積み上げで、よりたくさんのかたがたの就労が実現することが期待されます。

見学会日程

10月11日(木) セキスイボード(株)
10月25日(木) 大塚オーミ陶業(株)
※予定 12月20日(木) 滋賀県製薬(株)



ブロック研修 「企人協人権研修に参加して」

株 滋賀松風 梅谷高志

去る9月10日、甲賀市企業人権啓発推進協議会主催の人権研修（信楽）に参加しました。社会福祉法人さわらび福祉会、常務理事金子秀明さんの講演を聞きました。テーマは「障がいをもつ人たちの人権とその暮らし」二十数年の間、障がいをもつ人々と接しその支援活動を行って来られました。その体験をもとに、①障がいがあるということ、②精神障害について、③障がいをもつ人たちの暮らし、④障がいをもつ人たちの就労についての内容でそれぞれ体験を交えて話がすすめられました。社会には身体的な不自由があったり、精神的に障がいがあったり、知的な障がいをもつ人々がいます。事故・怪我などが障がいの原因であったり、先天的なものが原因して

いることもあるようです。世間の流れとして、世の中に役に立つかどうか、社会の流れに合わせられるかどうかの尺度だけで評価判断される場合があります。偏見が生まれる要素はそこにあると金子氏は話をされます。障がい（バリア）は障がいのある人が持っているのではなく、人々の心の中、世間の構造物の中にこそ障がいがある事実も忘れてはならないことであると感じさせられました。

【日時】

水口町 2007年9月10日(月) 9:30～
信楽町 2007年9月10日(月) 13:00～
土山町 2007年9月12日(水) 9:30～
甲南町 2007年9月26日(水) 9:30～
甲賀町 2007年9月26日(水) 13:00～



経営者トップ研修開催される

7月20日(金)午後1時30分～ 於・忍の里プララ

去る7月20日(金)午後1時30分より湖南省企業・事業所人権啓発推進協議会と(株)甲賀・湖南人権センターとの共催で忍の里プララにおいて、近畿大学教授の北口末広さんを講師に招き「変革の時代と人権－企業経営者の課題」と題してご講演いただきました。

当協議会主催では経営者トップ研修の取り組みは初めてでしたが、99社100名の参加者があり、湖南省の企業・事業所からは36社36名の参加がありました。

これからの企業経営について、「人権、環境、安全」の3つのキーワードの観点から企業リーダーに対して熱く語っていただきました。



第2回 甲賀市人権教育研究大会

平成19年8月19日(日)

2007年8月19日(日)甲賀農村環境改善センターで、第2回甲賀市人権教育研究大会が開催されました。今回の大会は、わが甲賀市企業人権啓発推進協議会の谷口克彦会長が実行委員長として企画、実施されました。

冒頭の谷口委員長のあいさつに続き、実践発表では啓発広報部の池本豊司さんが、パワーポイントにより企人協の活動報告をされました。また、ロビーでは人権パネル展示と啓発物の配布を行いました。



▲谷口会長あいさつ



▲池本豊司さんの実践発表



フィールドワーク研修

山一化工(株) 藤田康之

去る10月25日、甲賀市企業人権啓発推進協議会フィールドワーク研修に約40名の皆様と参加させていただきました。今回は大阪市生野区のコリアタウンでの研修でした。まずコリアボランティア協会の方々の案内で、生野「猪飼野」地区を散策しました。大通りから、段々と路地に入って行きコリアタウンの商店街へ到着するというルートでした。

昼食後は、時間の許す限りコリアタウンを自由行

動でしたが、あいにく昼前から降りだした雨の影響で思うように見られなかったのが少し残念でした。

今回参加し一番感じた事は“対話”だと思いました。顔や容姿は似ていても言葉や考え方が違う、我々と在日朝鮮人の方が共に生活していくのは大変だと思います。しかし、「何ができるだろう？」と考えた時、とりあえず話し掛けてみる、対話してみる、話せば解ってくる。考え方や色々な事が、それに自分の気持ちがあごんでいくように思います。今、日本では在日の方に限らず色々な外国人の方がおられます。見かけや偏見を持たず、まず“話し掛けよう”“対話をしよう”と強く思った一日でした。